

◎トナム「氷のLABO」での2つの実習案内

実習1)「北海道の冬を編集する」ワークショップ in TOMAMUアイスビレッジ
ー極寒のトナムでメディアをつくる術を学ぶ3日間ー
2012年2月10日(金)～12日(日)

実習2)氷のラボで占冠の雪と氷を知ろう！
ー占冠村の小学生への研究成果フィードバックー
2012年2月12日(日)～2月14日(火)

実習主催：IFES-GCOE 環境教育研究交流推進室

共催：北海道大学 持続可能な低炭素社会づくりプロジェクト、星野リゾート・トナム、占冠村役場

実習1協力：numerodeux

◎背景

12月23日から3月中旬までの予定で、占冠村トナムでアイスビレッジが開催されています。

アイスビレッジを構成する氷のドームのひとつを「氷のLABO」と名付け、雪氷、環境に関わる研究成果を展示し、観光客へフィードバックする場として、さらにドーム内の安定した低温を活かした雪氷研究をする場として活用させていただいています。その氷のLABOをさらに活用する形で、期間中の厳寒期に合わせ、以下の2つの実習を企画しました。

◎参加申し込み、問い合わせ

参加申し込み、問い合わせは、担当の中村 (kazuki.snow@ees.hokudai.ac.jp) までお願いします。

申込み切：2012年2月3日(金)

-----参加申し込み様式-----

氏名：

所属：

参加希望：実習1、実習2、両方の実習

連絡先(メールアドレス)：

緊急連絡先(携帯電話)：

◎宿泊、服装

なお、この実習は、星野リゾート・トナムと環境科学院との間で結ばれている連携協定の大学院生の教育目的に該当することから、参加期間中の宿泊費(2食込み)は、星野リゾート・トナムが負担します。

朝は、氷点下20℃以下になることもあります。上下の防寒着、防寒靴と帽子、手袋は必須です。

◎移動

また、札幌⇄トナム間の移動は、JRを基本に考えています。

また、現地で合流していただいても構いません。

JRを利用する場合、以下に該当する方には、持続可能な低炭素社会づくりプロジェクトの補助条件と合致するため、同プロジェクトから札幌・トマムJR往復運賃分が補助されます。

補助該当者：IFES-GCOEに関わる北大大学院環境科学院、農学院環境資源学専攻の5専攻に所属する大学院生、及びEPoCHに参加している北大大学院生、北大大学院進学希望の学部生

EPoCHに登録されている上記以外の方で参加を望まれる方は、ご相談下さい。

●実習1)「北海道の冬を編集する」ワークショップ in TOMAMUアイスビレッジ
—極寒のトマムでメディアをつくる術を学ぶ3日間—
2012年2月10日（金）～12日（日）

【内容】

自然と人間を対象とした、ライティング—取材・執筆・編集—のワークショップです。

北海道の厳冬の雪や氷に包まれた世界と、そこに関わる人々の暮らしや文化を題材として、それらの魅力を媒体（メディア）で発信していくことを、3日間に凝縮したかたちで体験します。ワークショップの舞台となるのは、星野リゾートトマムで開催されているアイスビレッジ。厳しい寒さの中での楽しみや学びを取材するのに絶好の場です。

じっくりと対象をくみる>、丁寧に人の話しをくきく>、自分なりの発見や気づきを他者と共有するためにくかく>、さらにこれらのプロセスで得られた情報をくあむ>と、メディア制作や広報など情報発信に欠かせないスキルやセンスを実践的に磨きあう場を共有していきます。

3日間で制作する成果物は、小さな「新聞」としてトマムリゾート内で配布するほか、同じ題材をもとに後日再編集して、フリーペーパー『MAGNET』の特集号として道内外各地に配布する予定です。

【講師・ファシリテーター】

- ・渡辺保史 北海道大学地球環境科学研究所GCOE上級コーディネーター
- ・石川伸一 フリーペーパー『MAGNET』編集長／numerodeux
- ・菊地信悟 グラフィックデザイナー／rocket design

【募集要項】

参加条件：大学生以上で、ライティングや編集などに興味がある方

※必ずしも編集やライティングの仕事に従事している必要はありません

※コンピュータ、デジタルカメラを扱うことができ、事前・事後にメール等で情報共有や意見交換ができる方

※ワークショップに参加するだけでなく、運営にも携わっていただく実習です。

※最後にA4、1枚のレポートを書いて提出していただきます。

参加定員：15名程度（申し込み多数の場合は抽選）

【主なプログラム】

2月10日（金）／午後トマム集合→オリエンテーション→編集・執筆に関するレクチャとディスカッション（1）→グループに分かれての企画会議→アイスビレッジを

中心に取材・撮影→夕食→編集・執筆に関するレクチャとディスカッション (2)
2月11日 (土) / 朝食→アイスビレッジを中心に取材・撮影→昼食→執筆・編集作業
→夕食→編集・執筆に関するレクチャとディスカッション (3) →編集作業
2月12日 (日) / 朝食→編集作業 (仕上げ) →昼食→グループごとに作品発表とふり
かえり、レポート作成→解散

●実習2)氷のラボで占冠の雪と氷を知ろう！
－占冠村の小学生への研究成果フィードバック－
2月12日 (日) ～2月14日 (火)

【内容】

北大が占冠村で行っている、雪氷、気象研究結果を村の子ども達にフィードバックするために実施します。
村の小学生を氷のラボに招待し、雪の学習を行います。
実習内容は、小学生へ指導補助になります。

【指導対象者】

占冠中央小学校、トマム小学校の高学年 (5, 6年生)
1 グループ最大10名程度、これ以上の場合、同じ時間で2グループに分けて実施
同じ内容を時間をずらして小学校ごとに実施することも、同時に行うことも可能。
今回は、天気のことを既に学んだ高学年を対象にしました。

【ねらい】

1)降雪、積雪を観察し、雪の特徴を知る。(どんな時に降るのか、形はどうか、温度はどうか。
2)占冠の雪と人の生活と結びつける。(雪は大切な水資源、観光資源)
3)地元の雪を知ることにより、地元を誇りを持つきっかけとする。

【講師】

中村一樹 北海道大学地球環境科学研究所GCOE上級コーディネーター

【募集要項】

学外の方に、大学での研究内容を伝える実践体験を希望する方
※最後にA4、1枚のレポートを書いて提出していただきます。

【主なプログラム】

2月12日 (日) / 午後集合→観測所見学と研究理解 (580m地点、1088m地点) →氷のラボでミーティング、展示内容把握と観光客への説明実習：翌日の小学生への説明の予行演習 (17時～19時、実習1参加者はここで合流) →夕食
2月13日 (月) / 朝食→準備、午前に小学生への実習 (2時間) →昼食→振り返り、見学→夕食
2月14日 (火) / 朝食→準備、午前に小学生への実習 (2時間) →昼食→振り返り→レポート作成、解散・出発

〒060-0810

札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学大学院地球環境科学研究院

グローバルCOEプログラム

環境教育研究交流推進室

中村一樹

Tel 011-706-3355

E-mail kazuki.snow@ees.hokudai.ac.jp ("@"=)

HP <http://reo.ees.hokudai.ac.jp/>